



2016年4月25日

安曇野市議会議員 浜 昭次 様

会 派 名 日本共産党安曇野市議団

代表者氏名 松沢好恵

経理責任者氏名 猪狩久美子

2015年度政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、2015年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収支決算

収入の部

(単位：円)

項 目	決 算 額	備 考
政務活動費	270000	@90000×3
合 計	270000	

支出の部

項 目	決 算 額	備 考
研修費	65530	他自治体へ行政視察を行なった。
〃	47110	他団体開催の研修会に参加
広報費	102492	会派ニュース印刷費
合 計	215132	

2 収入支出差引残高 54868 円

備考

- 1 備考欄には、主たる収入支出の内訳を記載すること。
- 2 政務活動実施状況（別紙）を添付すること。

政務活動実施状況

活動名	川崎市生活保護自立支援「川崎モデルの実践」の視察	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	先進事例を学び、安曇野市政に活かすための研修を行なった。	
活動の概要	日時	平成27年10月19日(月)から 平成27年10月20日(火)まで 時 分から 時 分まで
	研修先・主催者等	川崎市役所、パソナ就労支援事業所、川崎若者就労自立支援センター、かわさき若者サポートステーション
	報告内容・実施したこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市の生活保護の状況と、「川崎モデル」に至るまでの説明を聞き、具体的に就職サポート事業の現場を視察した。</li> <li>・川崎若者就労自立支援センターでは、自分の居場所を確保してからゆっくりと動き出せるように支援をしている様子を見せていただいた。</li> <li>・精神保健福祉センターでは「社会的ひきこもり」の状況、対応などをお聞きした。</li> <li>・かわさき若者サポートステーションでは、専門家による丁寧な支援について聞いた。</li> </ul>
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弱者や市民一人ひとりに行き届く支援を心がける職員とNPO、民間企業との協力ができていた。</li> <li>・どの支援でも支援する側、される側との信頼関係を築き、きめ細かい、そして粘り強い長期の支援が必要ではないか。</li> <li>・こうした若者に投資して社会に還元してもらおう、ということは一人ひとり大切な社会の構成員なんだよ、ということを伝えていたと思った。</li> <li>・安曇野市の良さを大いに活かし政策の基本にし、ここで学び、生活できる職業が確保され、若者が定住できるようにしなければならぬと感じた。</li> </ul>

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

## 別紙

## 政務活動実施状況

活動名	財政分析ステップアップ講座への参加と研修	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	財政分析の手法を学び、安曇野市の財政について研究を深める。	
活動の概要	日時	平成28年 1月12日(火) から 平成28年 1月13日(水) まで 12日13時から13日15時まで
	研修先・主催者等	東京都立川市 たましんRISURUホール 主催：NPO法人多摩住民自治研究所
	報告内容・実施したこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度決算の様々な指標による講義。</li> <li>「類似団体比較カード」「財政状況資料集」「健全化法に基づく総務省提出の総括表」を使って、財政分析の手順などについて講義を受けた。</li> <li>・交付税算定台帳による演習。</li> <li>「基準財政需要額」「普通地方交付税」などの「算定」。</li> <li>・自治体財政健全化法の考え方と解き方の講義。</li> <li>一般会計と特別会計から普通会計、公営企業会計。連結決算。</li> <li>地方財務会計から地方財務・企業会計への移行。</li> </ul>
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方財政が戦前からの踏襲されてきたものが変わる時期を迎え、その状況にふさわしい財政運営をしなければならない。</li> <li>・市の長期総合計画にはそれに見合う長期財政計画が必要。財政の例えば性質別、「節」別分析が基本的な資料となる。人口減少や少子高齢化における新たな市民ニーズの把握、公共施設の総合的管理・再編計画とコントロール化など。</li> <li>・地域循環型経済の視点から「物件費」(特に臨時職員などの賃金)を見直し、地域産業振興条例や公契約条例などの制定。</li> <li>・地方財政健全化法にも矛盾がある。公債費比率、公債費負担比率などの指標を、決算統計や目的別歳出から把握すること。</li> </ul>

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

政務活動実施状況

活動名	会派広報紙の発行	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	会派の活動を市民に広報するため	
活動の概要	日時	2015年4月、 2015年7月、 2015年10月、 2016年1月
	研修先・主催者等	会派広報紙「日本共産党安曇野市議団ニュース」の発行
	報告内容・実施したこと。	<p>・会派広報紙を作成し、新聞折込、手渡し配布などを行いました。</p> <p>2015年10月発行のNO, 29、2016年1月発行のNO, 30は会派活動とは関係のない記事がありましたので、各々按分しました。</p> <p>・NO, 29 28080円×90%=25272円          ・NO, 30 28080円×75%=21060円</p> <p>なお、発行した広報紙を添付します。</p>
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。